MONTHLY
かわせみ通信
10月号
2024年10月
Vol.182
発行所 株式会社東海テクノ ECOLOGY & SCIENCE 本社／三重県四日市市午起2丁目4番18号（〒510-0023）
TEL.059-332-5122 ㈹ https://www.tokai-techno.co.jp

相乗効果を引き出す戦略 ～ポリシーミックス～という概念～

環境政策の分野で近年注目されているのが「ポリシーミックス」（以下、PM）という考え方。PMは、政策を実現するために用いられる複数の手法を適切に組み合わせ、最大限の効果を引き出すというアプローチである。

例えば、法律や規制といった直接的な手法、税金や補助金を活用する経済的手法、さらに情報提供を通じて市民の意識を変える情報的手法などがあるが、これらの手法はそれぞれに強みと弱みがあり、単独では効果に限界があるため、組み合わせて活用することが求められる。

住宅用太陽光発電の固定価格買取制度や設備補助金は経済的手法として普及に一定の成功を収めたが、PMの観点から見れば不十分であった。設置補助金を出すだけでなく、設置者を集めた気候変動に関する勉強会を開催したり、発電データを収集して、広く地域に情報提供をしたりということをすれば、住宅用太陽光発電の普及だけにとどまらない波及効果があっただろう。気候変動に関して学び、さらに意識を高めた人々は省エネルギーや電気自動車への買い替え等にも乗り出すかもしれない。

また、PMの成功例としてよく引き合いに出されるのが「ごみ袋の有料化」。ごみ袋を有料にするという経済的手法だけでなく、それにあわせて、説明会を徹底して行うという啓発・教育を行うことで、さらに排出削減効果がある。またごみ袋の有料化にあわせて、分別区分の見直し、集団回収の支援、排出抑制や再生利用に取組む小売店の支援や中古品のリユースを促す情報提供や助成もなされている。排出削減だけでなく、住民や事業者の意識改革やリサイクル・リユースの促進等といった循環型社会の実現に向けて目的を複眼的に設定し、PMを行っている事例である。

現在、最もPMが求められるのが脱炭素政策。地域住民を置き去りにした行政と一部の企業による技術導入だけでゼロカーボンを実現したとしても、内発的で波及的な動きが出てこない。脱炭素先行地域への住民参加を促し、気候変動教育を進めたり、住民と企業との関係をつくる手段のPMが必要である。打ち手・戦略の組み合わせによる相乗効果とも言えるPMは企業活動においても有効である。マーケティング、技術開発、人的資源戦略など数多ある課題の対峙に一考してみては？

四日市市の都市再編計画に含まれている「雨庭」ってなに？

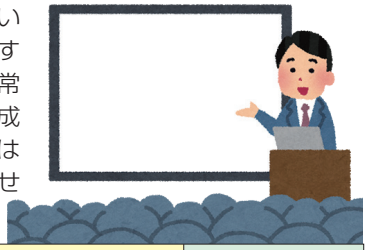
「近鉄四日市駅周辺では大掛かりな工事が続いているね。四日市市が環境先進都市として進めているプロジェクトのひとつが「雨庭」だよ。雨庭（レインガーデン）は、都市部での降雨による水の流出を抑制するために設計された植生エリアなんだ。雨水の一部を地中に浸透させることで、洪水や都市型水害のリスクを減らせるとされているよ。また、植物の根が水質を浄化し、地下水を豊かにすることで、都市部のヒートアイランド現象を緩和したり、景観を向上させたり、生物多様性を保全したりする効果も期待されているんだ。四日市市以外にも、多くの都市で雨庭が設置されていて、その効果が注目されているよ。

出典：ニワミチよっかいち
https://niwamichi-yokkaichi.com/about/

テクノの横顔

～社外でも活躍しています～ の巻 vol.9

日頃分析や測定技術員としてお世話になっている当社の社員たちですが、社外においても研究発表会等で活躍する場が増えてきており、日常業務の傍ら、研究や資料作成なども行っています。今回は直近の活動例をご紹介させていただきます。



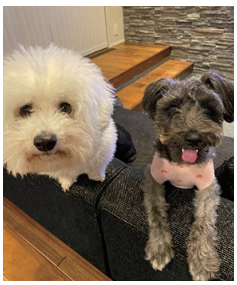
メンバー	四日市分析センター ラボ Gr 長・博士（学術） 小笠原 英城	四日市分析センター フィールド Gr　技師 野口　亮太	四日市分析センター フィールド Gr 宮城　俊佑
内　容	依頼講演 （証券会社等３社）	論文発表 英文学術誌 「Nature Conservation」	取材協力 アンビシャス 三重 100 人の仕事
	PFOS 規制等 環境法規制について	希少淡水魚シロヒレタビラの遺伝的集団構造の学術論文出版（研究成果について）	地元の中高生に向けた職業情報として「環境測定員」を紹介

論文掲載 HP
https://natureconservation.pensoft.net/article/111745/
三重県 HP
https://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0013700409.htm

社員プチコラム

福山　直也（コーポレート本部　総務Gr）

今年の夏は例年にないほどの猛暑で、三重県初の40℃超えが観測されるなど、異常気象のような毎日が続き、日課にしていた犬の散歩もこの暑さを理由にサボっていました。ペットの「しろちゃん」と「ももちゃん」はかなり不満そうにしていましたが、ようやく過ごしやすい季節になり、毎日朝晩の散歩を再開しました。ただ、この2匹は一緒に散歩に行くと喧嘩をするので、まとめて行けないことが残念です(笑)日頃から運動をする機会が少ないので自身の健康維持にも繋がると言い聞かせ頑張りたいと思います。



編集後記

「テクノの横顔」でもご紹介のとおり、弊社では講演依頼のご相談をはじめ、日々様々なご相談をいただきます。お客様にはすべての業務内容をご説明できる機会がないため、この度会社紹介動画を作成しました。ぜひご覧ください。

（みっちー）　https://youtu.be/QeJyqFWoqU0